

東川小等建設検討委、中間報告まとめる

東川小の全面移転改築望ましい

東川小学校の耐震化、学校併設の複合施設化への改築方針などを検討している東川小学校等建設検討委員会（会長・奥山富雄元東川小学校長）はこのほど、「移転・全面改築が望ましい」とする中間報告をまとめました。同委は今年10月ごろを目途に最終答申をまとめることになっています。

2月27日、松岡市
郎町長に報告しまし
た。

報告は「児童一人
当たりの面積が狭く、
さらに複合施設（児
童センター、老人セ
ンター）との併設で
建設する予定である
ことから、現在の小
学校の敷地では狭あ
いであり、将来を見
据え学校運営を考慮
した場合に全面移転
改築が望ましい」との方向性を示
しています。

さらに建設規模、設備などへの整
備留意点として①建築階層は2階建
て②多様な学習活動に対応できる施
設③太陽エネルギーの活用など環境
配慮④地域の生涯学習に対応⑤ユニ
バーサルデザイン（年齢や障がい
の有無などにかかわらず、できるだけ



東川小等建設検討委の奥山会長が松岡町長に中間報告を提出

多くの人が利用
可能であるよう
なデザイン⑥の
積極導入⑦夢を
かなえるような
建築デザイン⑦
中学校との交流
に配慮などを
挙げています。
また校舎部分
の整備は〇特別
教室の一部を可
動仕切り方式の
オープンスペー
スに〇特別支援学級の教室は障がい
を持つ児童が利用しやすい配置〇普
通教室（準備室を含む）は現況の2
倍程度の広さ〇校内各所から情報ネ
ットワークにアクセスできる校内L
AN整備〇木材を多用した施設など
18項目にわたって具体的な要望項
目を挙げています。

東川小等建設検討委（委員22人）

定額給付金の受付がスタート 初日約20人が窓口行列

「定額給付金」申請
受け付けが3月16日、
役場で始まりました。



初日、午前8時半には
「少しでも早い受け取
り」と、受け付け開
始前から約20人の町民
の方が早くもロビーに
並び、「家計の助けに
なっとうれしい」と喜
びの表情。「何に使おうか」と笑顔
がこぼれていました（関連31頁参
照）。

すべての国民、住民基本台帳登録
者、外国人登録がされている方に対
して、一人当たり1万2千円が支給
されます。中でも65歳以上、18歳以
下の方は、8千円多い一人2万円の
給付額を受け取ることが出来るもの
です。

町では3月13日、申請の受け付け

は、町内4小学校の統廃合問題を検
討する東川町内小学校統廃合検討委
員会（会長・林次男キトウシ自治振
興会選出、委員19人）と同時に昨年
7月下旬に発足しました。以来、道
内他地域の4小学校を視察、4回の

開始に向けて、支給対象
となる町内在住者に向け
て「定額給付金申請書」
を発送し終えています。
17日までに役場窓口、郵
送で申請手続きを終えた
方に給付金の振り込み作
業が始まりました。

この定額給付金の申請
は、今年9月16日（必着
が締め切りです。早めに手続きをお
願いします。

給付金支給に合わせて「東川つか
み取り祭り」（5月10日まで）もス
タートしました。町内の飲食店やス
ーパーマーケットなど参加店で買い
物をし、スタンプ3つを集めると、
豪華景品が当たるチョコレートやキ
ャラメルのつかみ取り抽選に挑戦で
きます。

委員会審議を行いました。
一方、統廃合検討委は、引き続き
審議継続しています。